

活動報告書

2023年6月更新分

報道関係各位

株式会社 JBP

株式会社 JBP と 釧路ガス株式会社 で「釧路ガス昆布の森づくり」構想を発表

株式会社 JBP（ジャパンプルーカーボンプロジェクト 代表取締役 吉川 京二、以下 JBP）と 釧路ガス株式会社（取締役社長 両角 幹彦、以下 釧路ガス）は 釧路港の海域において「釧路ガス昆布の森」の実現へ向けた実証実験を行います。

「釧路ガス昆布の森づくり」は、釧路の地域に「昆布の森」を作る構想であり、北海道開発局や釧路市からの助言を得ながら進めています。

ただ、現時点では、その海域には海藻類の養生は見られず、将来的にこの海域に昆布を始めとした海藻類の養生ができれば、ブルーカーボンには大いに貢献できることが期待されます。

その為に、まず「釧路ガス昆布の森づくり」の第1歩として、その海域に JBP の新たなパートナー企業になって頂いた釧路ガスのご協力の下、5個のブイを下ろし、釧路西港島防波堤で昨年12月に下したロープに養生したオニコンブを付け、来年3月までその生育状況の観察・確認を行います。オニコンブの養生が確認できた場合、その海域に1本50メートルのロープを増やしていき、「昆布の森」を目指していく計画となります。

現時点では、5/30（火）記者発表の午後にブイ下しを予定しております。天候、海の状況により、延期になる場合もありますので、予めご了承願います。

二酸化炭素吸収源として昆布の森を作ることにより、JBP としては、ブルーカーボンクレジットを将来的に発生させることを狙いとしています。また、釧路ガスとの協働により、本事業は、地元企業による地元根差したブルーカーボン推進活動となります。

これにより釧路振興局が全道に先駆けて設立した釧路管内「ブルーカーボン推進検討協議会」の活動及び釧路市ゼロカーボンシティ宣言に対し、多大な貢献となり得る活動に成長させていきたいと考えております。

今後も JBP は藻場再生、昆布等の海藻の森づくりを通じ、ブルーカーボン活動による二酸化炭素吸収増によって、脱炭素を目指す持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記者発表風景



株式会社JBP & 釧路ガス株式会社記者発表式次第

1. 出席者紹介
2. 株式会社JBP 代表取締役 吉川 京二 挨拶
3. 釧路ガス株式会社 常務取締役 長島 保典 挨拶
4. 釧路西港島防波堤実証実験観察成行き報告
5. 「釧路ガス昆布の森づくり」構想説明
6. 質疑応答

第3回 釧路西港ブルーカーボン推進研究会

事務局

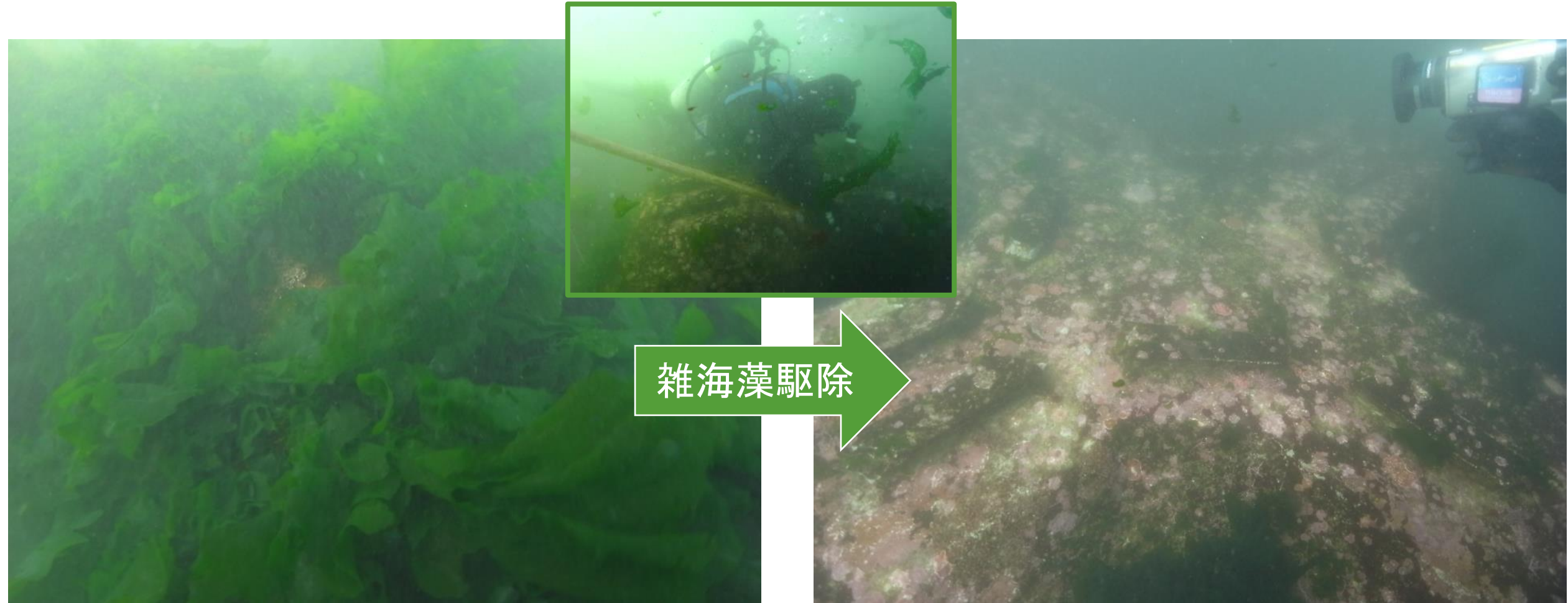
(株) JBP

議題

1. (株) JBP 吉川代表挨拶
2. 新メンバー紹介
釧路市水産港湾空港部
3. 島防波堤実証実験観察報告 (3月、7月、2023/4)
4. 「釧路ガス昆布の森 (仮称) づくり」 (案) 説明

1. 島防波堤におけるブルーカーボン実証実験1 雑海藻駆除試験

- リーフを覆う小型海藻を刈取り（駆除）、コンブ類などの着生や芽吹を促す
- 大きく育つコンブ類などの増殖を促し、CO2吸収量の最大化を目指す。



コンブ漁場で用いられる雑海藻駆除技術を港湾のCO2吸収量拡大に活用する試み

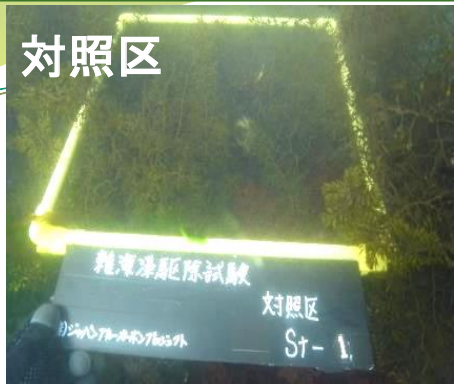
試験状況 1

2022/3/9

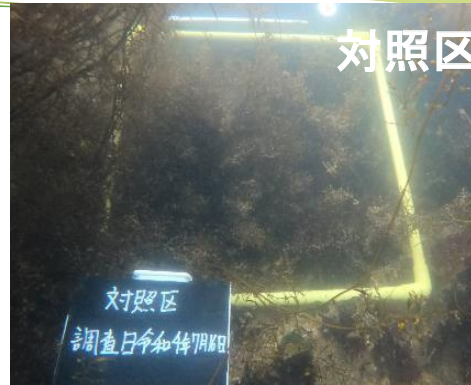
2022/7/16

2023/4/15

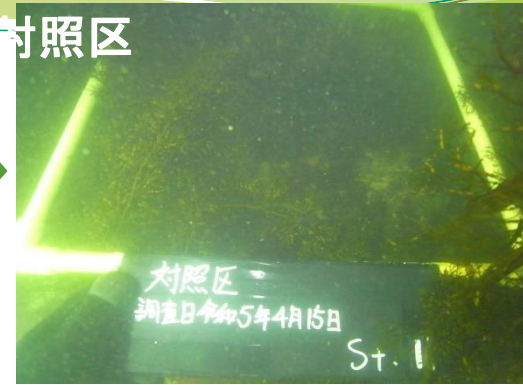
対照区



対照区

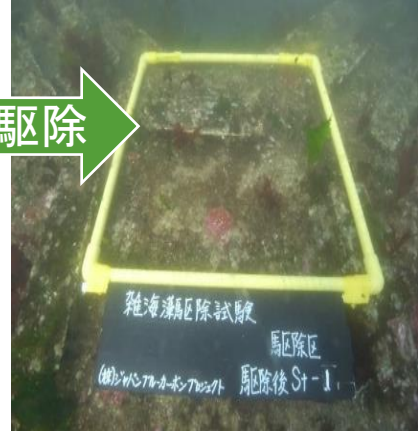


対照区

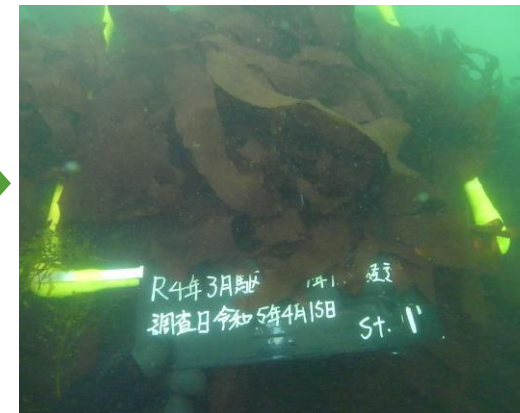
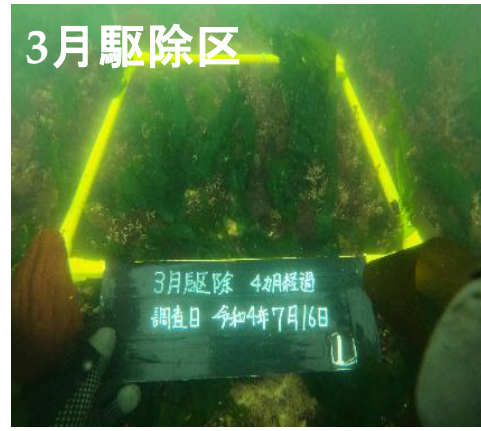


昨年3月と大差
ない養生状況。

雑海藻駆除

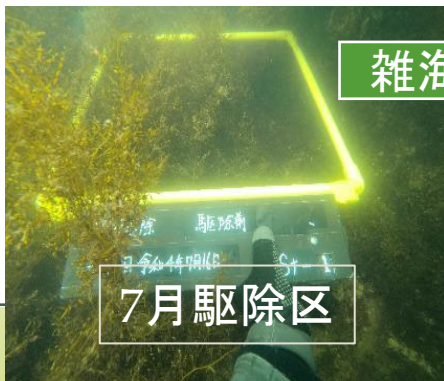


3月駆除区

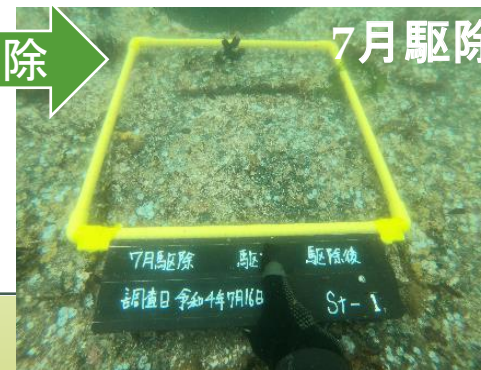


緑藻（アオ
サ）から紅藻
への変化は見
られたが期待
した大型コン
ブの着生は確
認できず。

雑海藻駆除



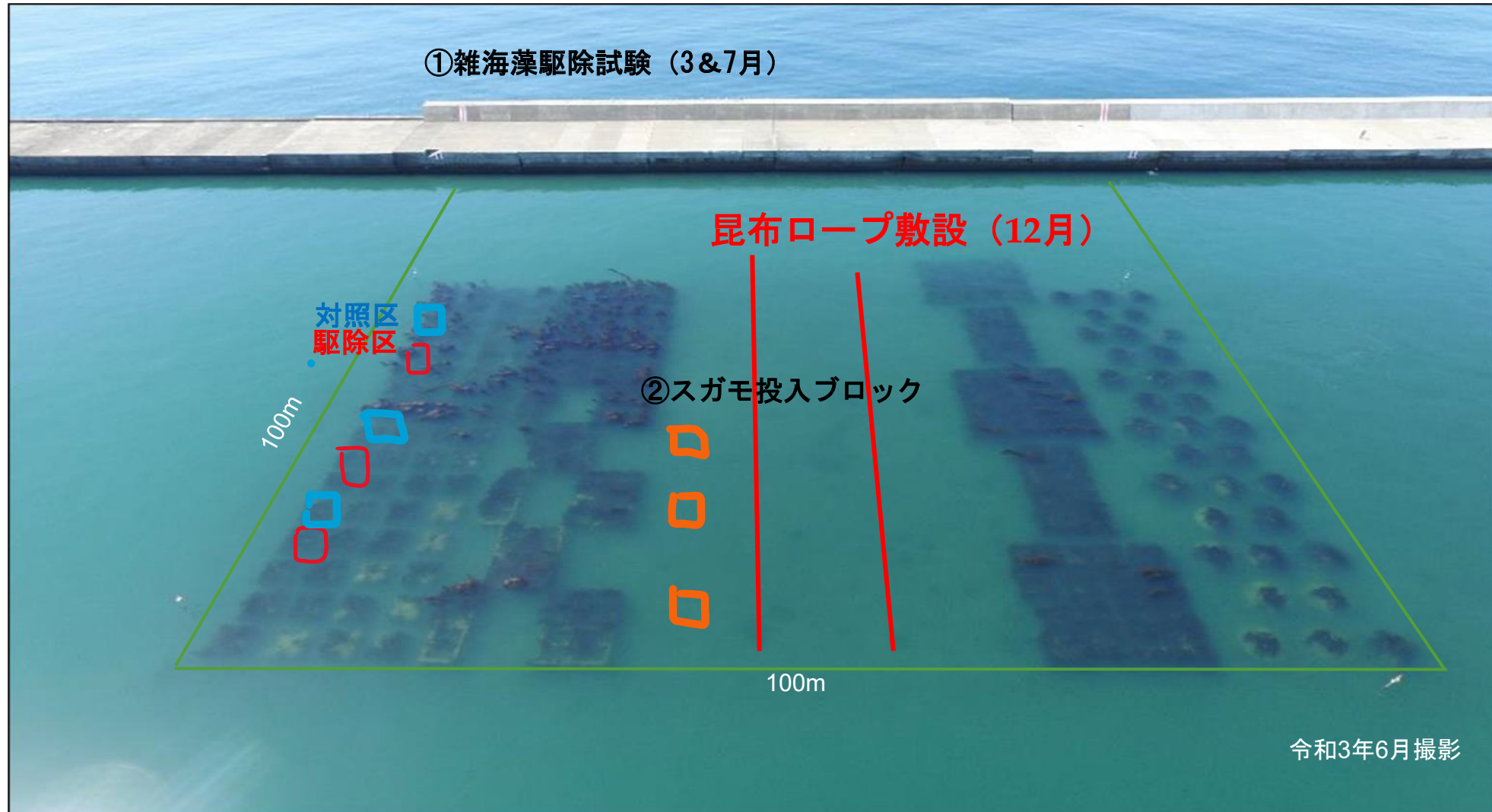
7月駆除



7月駆除区は、
小型海藻が養
生。

2. 島防波堤におけるブルーカーボン実証実験2 ロープ下し

ロープを2本おろし、1本にはオニコンブの幼芽を付着。1本はロープのみ。



試験状況 2

ロープのみ



何かの珪藻が付着したのみ

オニコンブの種苗を付けたロープ



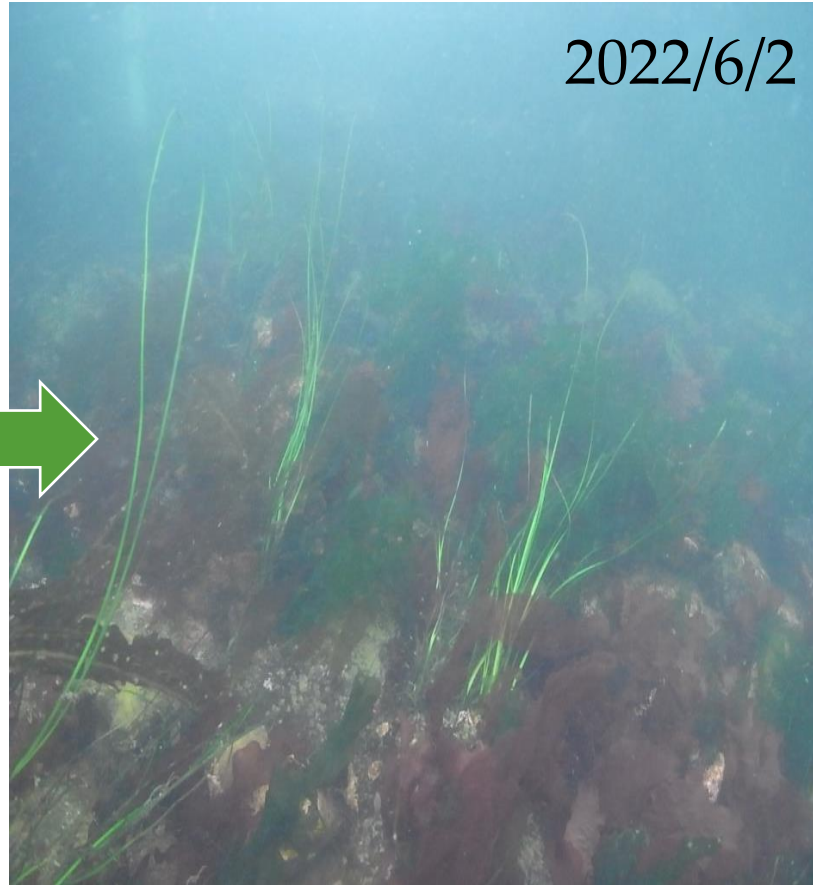
オニコンブは順調に育成しており、ブルーカーボンへの貢献が期待できる。

スガモ植栽試験

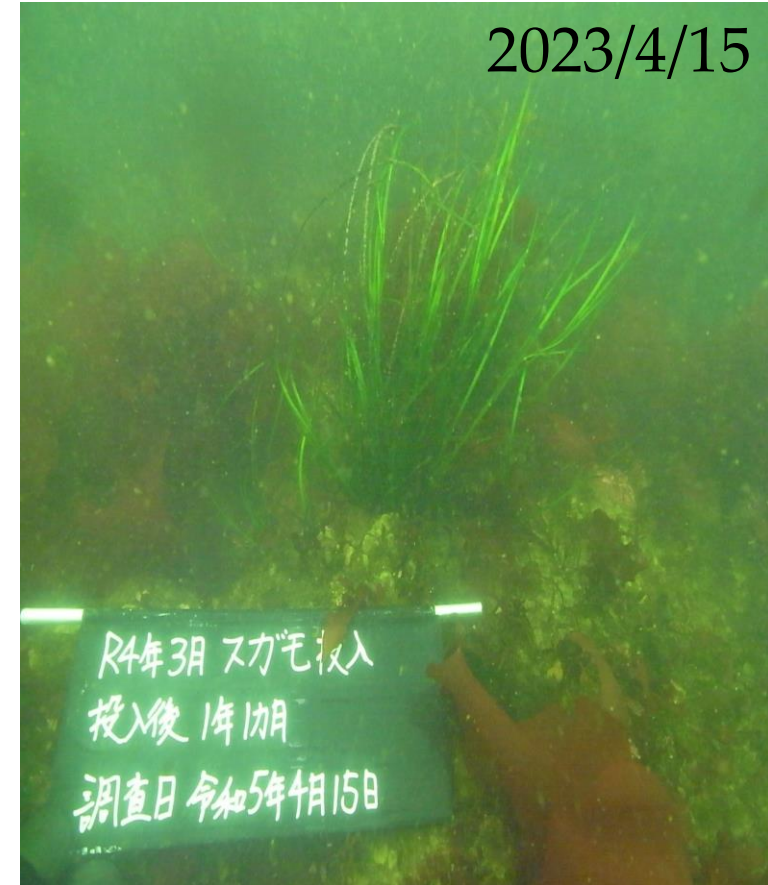
2022/3/9



2022/6/2



2023/4/15



- 人工的に植栽したスガモ（海草）の残存を引き続き確認。
- わずかながら成長はしているが、他の所に分布の拡大は見られない。追跡調査を継続。

3. ブルーカーボン実証実験結果から推察されること

- ①コンブ漁場で有効である雑海藻駆除では、**コンブの着生促進は見られず**。
- ②オニコンブ種苗付きロープの**オニコンブ**は、冬季のみであるが、**出芽と良好な成長を確認**。島防波堤付近は昆布の生育に問題なし。
- ③当エコポート事業のブロック設置初期には、コンブの着生と繁茂が見られていたが、**コンブから小型海藻の藻場に経年的に変化**し、コンブ遊走子（種）を供給できる**親コンブが少ない状況**になっているのではないかと？
 - **雑海藻駆除と親コンブを増やす必要**あり。現在下ろしているロープはそのまま継続し、そのコンブが親コンブになることを期待。
- ④スガモの養生に関しては、自然発生的に分布は広がっていないため、意図的に養生させて、将来的に森にしていくことも考えられる。

4. 今後の新たな課題

ロープに着生しているコンブが親コンブになることを期待し、新たなブロックを通常漁場で**雑海藻駆除**が行われている**秋から冬**にかけて行うことも検討。

5. 今後の島防波堤実証実験スケジュール

2023/7 第4回目観察（開発局定期観察と同時実施）

2023/9～10 雑海藻駆除（追加ブロック）

6. 学術的な問合せ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 長谷川 夏樹先生

0154-91-9136 hasegawa_natsuki82@fra.go.jp

釧路西港 「釧路ガス昆布の森づくり」構想

株式会社JBPジャパングループカーボンプロジェクト
釧路ガス株式会社

釧路西港「釧路ガス昆布の森づくり」概要

(1) 目的

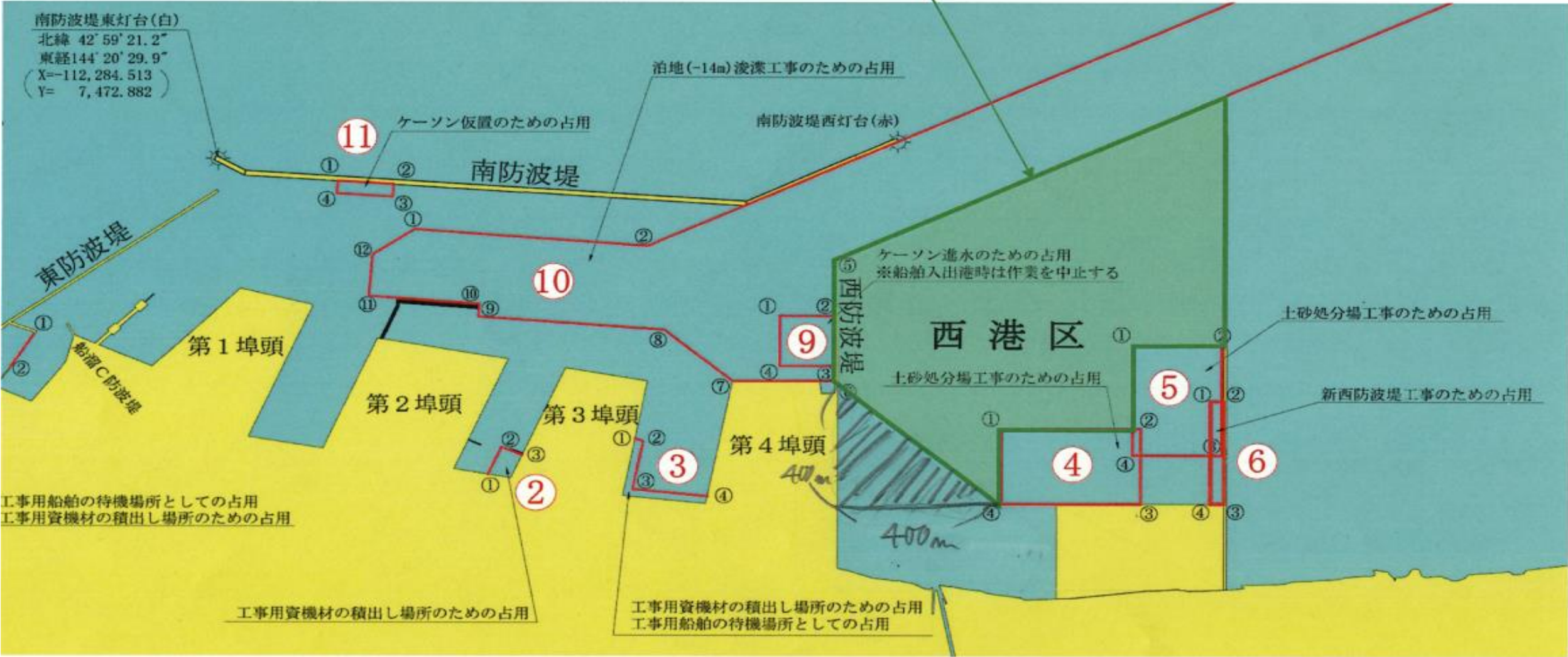
- ①ブルーカーボン活動による二酸化炭素吸収増への貢献。
- ②地元企業（釧路ガス）の協力の下地元根差したブルーカーボン推進活動で地域へ貢献。
並びにブルーカーボンクレジット発生/取得による継続的な活動に繋げる。
- ③釧路市ゼロカーボンニュートラルへの貢献。
- ④釧路振興局が進めるブルーカーボン推進検討協議会活動への貢献。

(2) 場所

釧路西港 第4埠頭付近（詳細次ページ）

「釧路ガス昆布の森」づくり場所

航路浚渫、ケーソンえい航で
作業船が航行する範囲

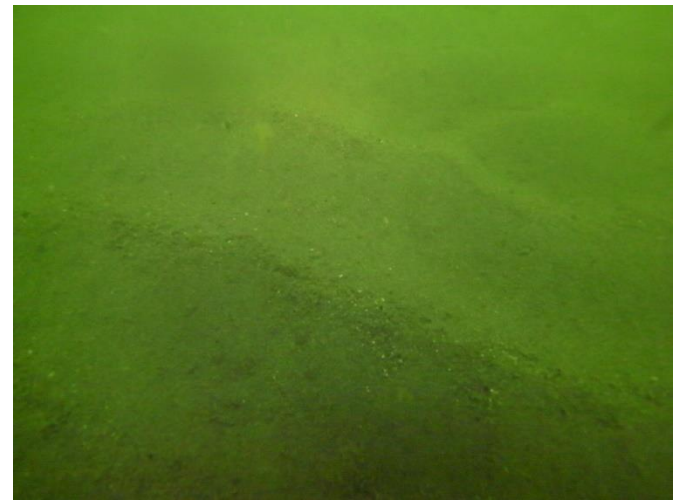
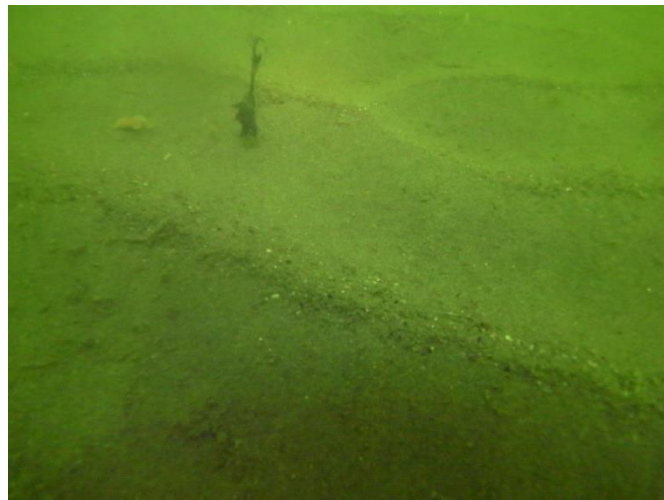
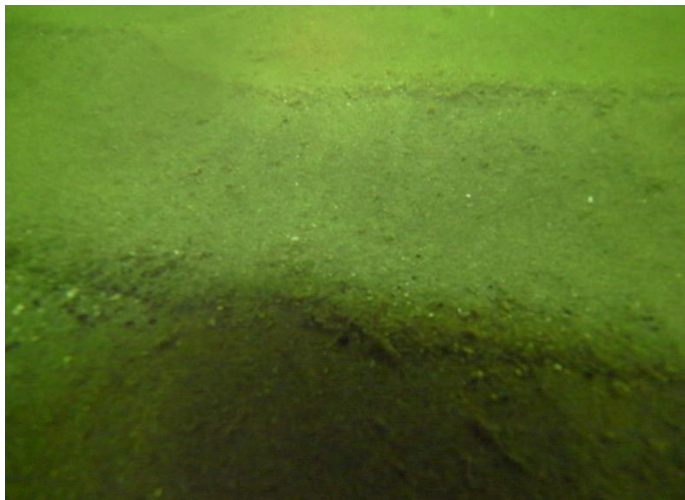


↑
= 埠頭上

(3) 釧路西港 第4埠頭付近&事前調査

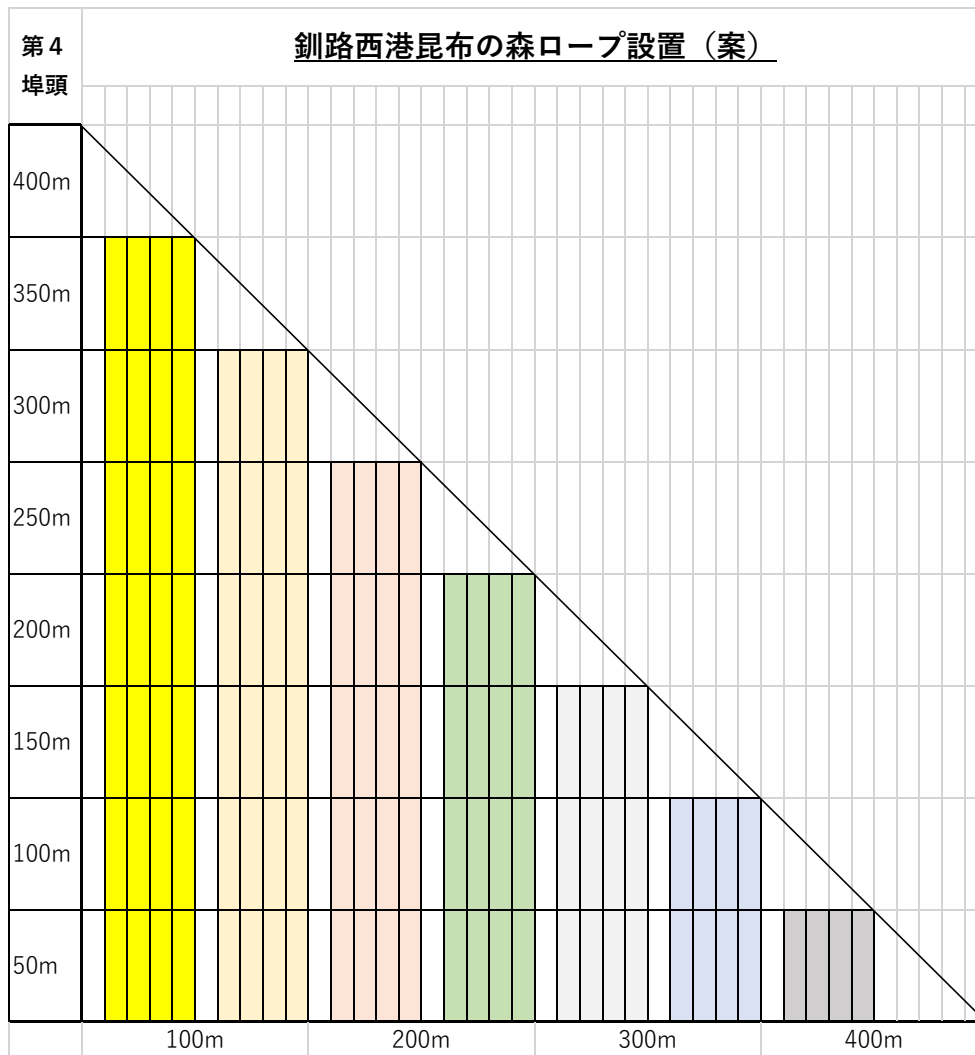


海 底



(4) 全体構想 (案)

① 釧路ガス昆布の森完成予想図



「前提条件」

- ・ ロープの間隔は10m。
- ・ ロープの長さは50mを基本とする。

① $350\text{m} \times 5\text{本} = 1,750\text{m}$

② $300\text{m} \times 5\text{本} = 1,500\text{m}$

③ $250\text{m} \times 5\text{本} = 1,250\text{m}$

④ $200\text{m} \times 5\text{本} = 1,000\text{m}$

⑤ $150\text{m} \times 5\text{本} = 750\text{m}$

⑥ $100\text{m} \times 5\text{本} = 500\text{m}$

⑦ $50\text{m} \times 5\text{本} = 250\text{m}$

総ロープ長さ 7,000m

②スケジュール

2023/4/15

事前調査

2023/5/30

記者発表 & ブイ下し (5個)



・オニコンブ（島防波堤実験中のもの）をとりつけ。

2023/6～2024/3

海藻類の養生状況を確認

2024/4～

ロープ下し開始（第1～4次計画）